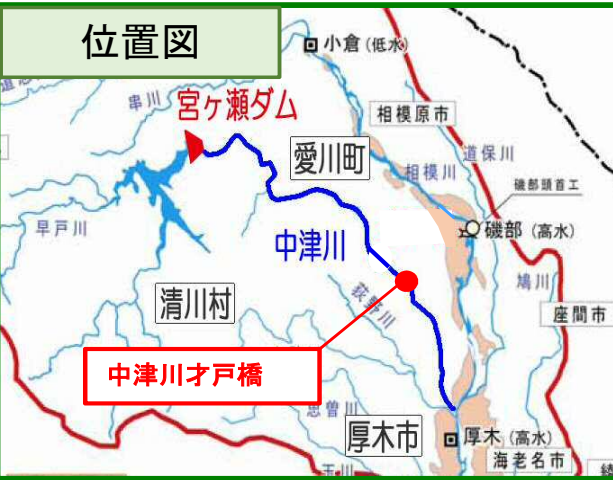


平成30年7月28日台風12号による洪水に対して、^{みやがせ}宮ヶ瀬ダムが効果を発揮（^{さがみ}相模川水系 ^{なかつ}中津川）

- ^{みやがせ}宮ヶ瀬ダム上流域において、最大時間雨量27mm 累計雨量231mmを記録。
- 今回の洪水において、宮ヶ瀬ダムへの最大流入量 毎秒146m³に対し、毎秒56m³をダムに貯留して、放流量を毎秒90m³に抑えました。
- ダム下流の^{さいとばし}才戸橋地点（^{あつぎ}厚木市 ^{さんだ}三田付近）で、約24cmの水位を低減させる効果があったものと考えられます。

位置図



下流河川の状況



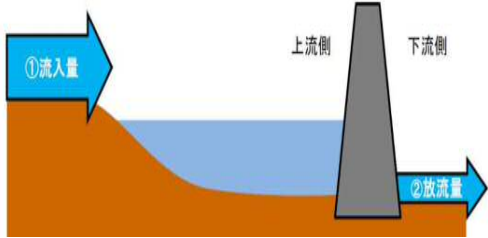
平時の中津川 才戸橋付近
(平成30年7月4日14時撮影)



出水時の中津川 才戸橋付近
(平成30年7月29日9時撮影)

防災操作の状況

①流入量	②放流量	③貯留量
146 m ³ /s	90 m ³ /s	56 m ³ /s

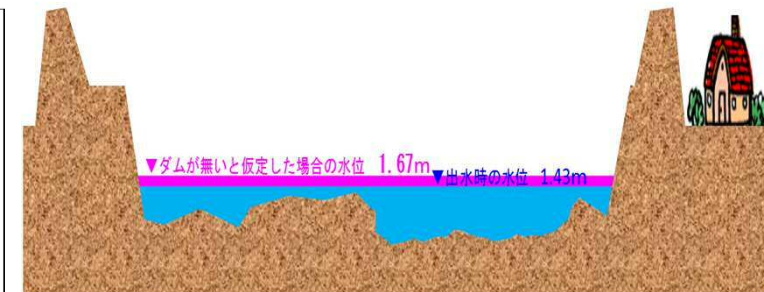


③貯留量 = ①流入量 - ②放流量

防災操作は、7月28日19:10～29日07:30



ダムの効果



宮ヶ瀬ダムにより想定される水位の低減

※平成30年7月29日現在の速報値であり、数値等は今後変わることがあります。
※図は状況を説明するため 模式的に表現したものであり、実際の状況とは異なります。